

星屑

2012年5月号

No. 446



木星、スバル、金星と夜桜

熊本県民天文台

3/10(土)

城南公民館主催

親子で天文台訪問 金星と冬の星空観察

冬から春にかけての星座を観察し、金環日食の解説も行いました



親子で天文台、冬の星空編

城南公民館講座「親子で天文台訪問」の参加者と、一般のお客さんと、合わせて30名ほどの来台がありました。

久しぶりに、観測室が満杯になり、うまい具合に晴れ間が広がって、星もよく見えましたから、にぎやかでした。

望遠鏡では夕空の木星や金星からスタートして、冬の星座の名所を巡りました。観察の順番を待っている間に、人々を指し示しながら星の名前を解説、星と星をつないで星座の形も解説しました。20時半頃まで観測室でたっぷりと楽しみ、それから、ミーティングルームで「金環日食」などの解説を上映。お土産写真をプレゼントして終了しました。

解説が弾んで、終了予定時刻を30分くらい過ぎてしまいました。それでも、誰も席を立とうとしませんでしたから、熱心なお客さんが多かったんですね。運営は、艶島、西嶋、小林Mの3名でした。

親30年ぶりにやってきた！

公民館講座参加者の中に、子どもを連れた若いお父さんが1人いて、終わったあと、私たち県民天文台のスタッフに話しかけてくれました。

◎「ここは、何年やっているのですか？」

★ 5月で、満30年です。

◎「30年ですか？ すごいですね！」「・・・そうだよなあ・・・」、「私は、今から30年くらい前のことですが、できたばかりの天文台に来たことがあります。小学校五年生の時、親に連れてきてもらったんですよ。」・・・、「で、今夜は、私が自分の子ども（ちょうど5年生くらい）を連れてきました。」

★ ちょうど一世代ぶりってわけですね。

◎「そうなんです。講座の案内を見て、そうだった、自分も星を見に連れて行っ



てもらって、楽しかったなあ・・・と思いました。」、「あの頃は、星を見て、天文学者になりたい!って思っていたんですが・・・」、「なれませんでした!」

★ 天文学者にならなくて、良かったかも知れませんよ。食べていくのは大変ですから・・
◎「は、は、は、そうかも」、「あなたは、30年前にも天文台にいらっしゃったんですか?」

★ はい。ずっと、やっています。
◎「30年間、ずっとですか??!!」・・・「すごい!」・・・
「すごいですねーーーーー(絶句)」

・・・・・

こんな会話がありました。

もう少しで県民天文台が一般公開を始めてから満30年を迎えるが、利用者の側は、確実に、次の世代へと繋がっていますね。

3/17(土) 城南公民館主催 親子で天文台訪問 冬の星空観察

金環日食やオリオン大星雲を解説、後半は星が見え、大喜びでした
2週続けての開催です!! 雨が降りそうな天気でも、数家族が来台しました!

もしかしたら

今夜は参加者が誰も来ないかも知れない・・・、そう思うほど、この日はお天気が悪かった。お天気予報では、朝のうちだけ雨で、午後は晴れるということでしたが、見事に外れました。ただ、17時頃から空が少し明るくなりつつありました。1時間半前には天文台に到着、ミーティングルームを片付け、準備をしながら、お客様が来るのかどうか?本当に不安でした。

でも、開始時刻前に最初の一家族がやってきて、続いて、すぐにもう一家族が、楽しそうに声を弾ませながら天文台にやってきました。いやあ、すごい! 「公民館講座」での「星の観察」は、なかなかの人気ですね。「さあ、精一杯張り切って今夜も星空解説をしよう」と、元気が湧いてきました。その後、数家族13名+公民館スタッフ2名がそろったところで定刻、無事に「星空観察」がスタートしました。

スライディングルーフと望遠鏡の解説

最初は、2階の観測室で、スライディングルーフについての説明。続いて屋根を動かすと、両側の壁がレールになっていて、屋根がスライドする様子にびっくり。普通の人は、屋根は動かないで床と一緒に自分が動いている、と感じやすいようです。それに、屋根が開いて、頭の上にぽっかりと空が広がり、目の前に大きな望遠鏡があるという状態になりますから、それまでの暗くて狭い観測室内の印象との落差も大きいわけです。これだけで、結構喜んでくれました。

電子紙芝居での解説から

空には雲が広がり、まだ1つも星が見えないので、一旦1階のミーティングルームに降りてもらい、大画面を使って電子紙芝居での解説を行いました。前の週に実施した「親子で天文台訪問」に参加した家族が一家族ありましたから、前週と全く同じ解説になるのは避けて、オリオン大星雲の解説などを交えながら進行。もちろん、5月21日に起こる「金環日食」の話題は欠かしませ

んでした。

外の様子を確かめたら

20時を過ぎて、解説が一区切り付いたところで、外の様子を確認。そうしたら、相変わらず雲は広がっているけど、所々に星が見え始めました。早速、2階の観測室へと移動してもらい、41cm望遠鏡で、金星やシリウス・ベテルギウスなどを観察してもらいました。「今夜は、星は見えないだろう」と諦めていた参加者達、これには大喜び! 終了時刻になるまで、大いに楽しんで下さいました。

最後に、天文台の案内チラシとお土産写真、金環日食観測ツアーの案内チラシをプレゼント。これで、2週連続での「公民館講座」が無事に終了しました。

3月の運営で考えたこと…

確実に星を見たい!

「公民館講座」を2週連続して開催することにしたのは、「星を見たい!」という一般市民の願いに、なんとかして応えたいと考える城南公民館の橋本さんの提案があったからです。もともと、「晴れて星が見える夜にはいつでもどうぞ」というスタンスで一般公開を始めた県民天文台です。しかし、今では市民の間にそんな認識が薄れているのかも知れません。それなら、・・・というわけです。「天文台訪問」の講座を2週連続で開催して、「どうぞ、星が見えるときに来台して下さい」と、県民天文台流の楽しみ方を提案し直したわけです。

若いメンバーの獲得が課題

開設から間もなく30周年を迎える県民天文台ですが、今一番の悩みは、若い世代の新しい運営委員を、十分な人数獲得できないでいることです。様々な社会的要因が重なっているのは間違いありませんが、皆さん方の知恵を結集して、次世代の担い手を発掘し育てる取り組みに力を注いで行きたいですね。ご支援・ご提案などよろしくお願ひします!

3/23(金) 宇土市の文窯・ハハ窯工房で 地球環境を考える 星空観察会

豪雨の中での実施、参加者は少なかったが、おいしいピザと、星空・宇宙



1週間ほど前から、なぜかこの日だけは「激しい雨」という予報。普通なら、前後にズレたり、「曇り」や「晴れ」に変わったりするのに、毎日毎日同じ予報が続きました。それで、12cm屈折望遠鏡1台と、プロジェクターやスクリーンなどを車に積み込んでおきました。大画面に投影しての解説をメインにし、もし晴れ間が出たら臨機応変に対応するという2段構えの計画です。星の観

察は20時からですが、18時前には会場に到着、車から機材を降ろして準備を始めました。

昨年も、「サプライズな夕食会」を催された文窯・八八窯さん、会場に着いたら大きくて不思議な形をした壺（？）が3基、木枠の中にデーンと据付れられていきました。・・・・

いったいこれは何でしょう？ 中をのぞき込むと、わら灰の上に火の付いた備長炭がチンチン音を立てていました。そして、内部の突起に陶板製の中蓋を置き、さらに上蓋を被せて使う、いわば「壺焼きの窯」なのだと分かりました。

側では、普段陶芸教室に通っているらっしゃる生徒さん数名が、せっせとピザを焼く準備をしていらっしゃるではないですか！ これには驚きました!! ピザって、大きな石窯などで焼くのだと思っていたからです。



チャレンジした作品

この「壺焼きの窯」、今回のイベントに向けて、新たに考案し試作したものだとか。その着想と制作力には驚くやら感動するやら。しかし、その余韻を楽しむ間もなく、私は、すぐに炭火おこしやピザ焼きにのめり込んでしまいました。とにかく面白く、また楽しいのです。そして、ほどよく焼き上がったピザを方ほうぱりながら、「さあ、今日はどんな解説にしようか？」などと、思案を巡らせたのでした。

杉村さんの応援で

おいしいピザだけでなく焼き芋までごちそうになってから、この日の応援に駆けつけて下さった天文台会員の杉村さんと解説会場の設営をしました。とは言っても、スクリーンを開設し、大型三脚の上にプロジェクターを設置、パソコンをつないで、投影サイズなどを調整するだけ。あつという間に準備が完了しました。それから、「今夜の星空」、「金環日食」、「オリオン座とオリオン大星雲の不思議」など、次々と解説を展開。最後は、質疑応答が続いて・・・・、終了時刻の22時になっても、和やかに星空談義が続きました。

残念だったなのは

雨がひどく降り、風も強くて、当日のお天気が悪すぎたこと。そのせいで予定していた方々の大半が「今日は中止になるだろう？」と考えてしまったらしく、参加者が少なくなってしまったこと。そしてもう一点、余りに楽しすぎて、途中から写真撮影を忘れてしまったことです。

県民天文台のメンバー数名も、当初は参加を表明していたのですが、春の人事異動に引っかってしまい、歓送迎会などの予定が入り、来れなくなってしまった人たちもいましたね。

でもまあ、きっと来年も、満開の桜の下で、焼き物=陶芸作品を鑑賞しつつ、「宇宙の火」で焼かれた宇宙のチリから誕生したらしい私たち=「星のかけら」が、「地球環境」を考えながら「星見の宴」を開くことになるでしょう。皆さん、来年の桜の時期をご期待下さい。

3/28(水) 城南町 旭が丘公民館 で

「はやぶさ」(祈り) 上映会

イトカワに着陸した後、音信不通から回復して、地球に向かうまでをCGで
分かり易くて、とても良かった! もう一度見たい!という反響が!!

新築なった小さな公民館で

私（艶島）が住んでいる旭が丘団地は現住戸数30戸の小さな住宅団地です。そこにある旭が丘公民館は、老朽化が進んでいたのですが、平成23年度に解体・撤去され、跡地に新しい公民館が建設されました。

それで、せっかく新しい公民館ができたのだから、この施設を生かして、何か星に関連したイベントができないか?と思案していたのです。ヒントになったのが「空港で星を見る会」です。今時の市民にとって「はやぶさ」の人気はすごいですよね。映画も続々封切られているし・・・・。そこで、以前天文台でも上映会を行ったことのある「祈り」バージョンのDVDを使って、上映会をしようと思い立ちました。



12名が参加

住民数100名くらいの小さな団地ですが、数日前にチラシを撒いたら、子どもから熟年世代まで合わせて12名もの参加がありました。上映会は1時間の予定として告知。35分間のDVD上映のあと、「はやぶさ」についての解説と、金環日食の解説とをやって、1時間余りで終了しました。

真面目な科学解説イベントでしたが、「面白かった!」、「分かり易かった!」、「またやって欲しい」など、子ども達だけでなく、保護者や、熟年世代にも好評でした。

金環日食を見に行く!

金環日食についての解説に聞き入っていた子ども達。志布志への日食観察ツアーの説明画像を見て、「私、金環日食を見に行きたい!」「ね、みんなで金環を見に行こうよ!」と、家族に誘いかける子どもも出現。もう、しっかりその気になっているんです。解説している私にとって、この反応は嬉しくもあり、驚きでもあり、少し複雑でした。

だって、子どもにも「金環日食」を観察することの楽しさがしっかりと伝わって、「見に行きたい」と思ってもらえたことは大成功だと思うのです。しかし、「学校を休ませて、一緒に見に行ってはどうですか? 金環日食は、一生に一度の体験なのですから」と呼びかけてはいても、その判断は保護者がするもの・・・と、私自身が決めてかかっていたからです。

カラオケ実験も!

旭が丘公民館では、プロジェクターを使って大画面への投影を経験するのは初めてです。参加者の中から、この大スクリーンと、今回の音響設備とを使って、カラオケができるか・・・との相談も飛び出しました。早速、マイク1本にカラオケシステムを内蔵した今風の「カラオケ」を持参、実験もやってみました。小さな公民館でのこんなイベントも面白くて楽しいですね。

4/14(土)

城南公民館主催

13:30~

見逃すな！金環日食と今年の天体ショー

金環日食が、くまもとではどのように見えるか、志布志ではどうか？
日食を安全に観察するにはどうすればよいか、などを解説、金星食の話題も

5/12(土) 午後

県民天文台開設30周年

熊本市内の公民館(2館)で 天文講演会

講師は：JAXA宇宙科学研究所 阪本成一 教授

5/13(日)

県民天文台開設30周年

総会(午前) と 講演会(午後)

講演1 13:00 ~ 14:50

「なんて素敵なこの銀河」

～天の川銀河の謎に電波で迫る～

半田 利弘 氏 (鹿児島大学 教授)

講演2 15:00 ~ 17:00

「はやぶさとALMAで探る太陽系の始まり」

阪本 成一 氏 (JAXA宇宙科学研究所 教授)

最前線で活躍する2人の天文学者の講演をお楽しみ下さい！

5/14(月)

県民天文台開設30周年

城南町内の小・中学校 で 天文講演会

講師は：JAXA宇宙科学研究所 阪本成一 教授

5/20(日)～21(月)

鹿児島県志布志へ

金環日食観察ツアー 金環食が4分42秒継続

お問い合わせ・申込は、 太陽ツーリスト TEL: 096-355-5031 (担当：岩山)

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

春とは思えぬ冷え冷えとした3月のおかげで、熊本での満開は4月に入ってから。天文台の桜も4月に入ってちょうど満開。しかし、花冷えの夜で、一般公開にやってきたお客様もあまりの寒さに震え上がっておられました。

さて、木星は金星と逆転し西の空低く、高くなつた金星が輝き始めてからかなり時間がたたないと見えにくく、写真に撮ろうとすると周囲の空の明るさに埋没して写らないという状態になってきました。それでも、木星・金星・火星・土星と、いっぺんに4惑星全部見られるなどというのはめったにないことですので、お客様にはなかなか好評です。特に金星・土星は形が楽しめますしね。さあ、週末天気になあれ。



木星

いつの間にこんなことになってしまったんだろう
ずっと空の高いところで 一番星の名誉を
思うがままにしていたはずなのに

いつのまにやら 美女にその座を取って代わられて
神々の王は すっかり自信を失ってしまった
ともすると
薄明に身を隠し 木陰に身を隠し
存在を消そうとする

いいじゃないの
栄枯盛衰は世の習い
世界は回っているのよ

美女は くすくす笑いながら ウインクする
目覚めたばかりの桜が
ぽつと 頬を染めた
東の空が明るい
もう一人の女神が姿を現すころだ

二人がかりで来られては と
神々の王は そそくさと逃げ出した
女どもめ・・・と呟きながら



By Dio

2012年3月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 8日／14日=57.14%
一般来台者数 84名

総開台日数 11日
会員来台数 21名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
10日 (土)	晴れ	艶島 西嶋 小林M	30人	城南公民館講座 金星、木星、シリウス、ベテルギウス、オリオン大星雲 電子紙芝居、5／21の金環日食解説 トークアバウト 星屑印刷、発送準備
11日 (日)	くもり	艶島	0人	雲間に時々星が見えているけど、お客様がいません。20時30分で帰ります。
13日 (火)	晴れ	艶島	1人	城南公民館坂口さん 4／14(土)の公民館講座「見逃すな!金環日食と今年の天体ショー」の打ち合わせ
17日 (土)	曇り 一時晴れ	中島 艶島	13人 +2人	城南公民館講座 ○ 観測室ではベテルギウス、シリウス、火星を観察 ○ ミーティングルームでは オリオン大星雲の解説とオリオンとサソリの電子紙芝居を上演 いい感じの観測会になりました。星が見えないのではないかと心配しましたが、ちゃんと見え火星の模様が雲があったせいか、減光されてよく見えました。
18日 (日)	曇りの ち晴れ	艶島	0人	夕方までは曇り空。夕食をとっている間に一気に晴れました。それで開台。しかし、お客様がおいでになりません。残念!
19日 (月)	曇り	艶島	1人	熊日から取材に1人来台。 政令指定都市特集 南区の特集号用 記事掲載のため

日付	天気	担当運営	来台数	記事
23日 (金)	雨	艶島 杉村	7人	文窯・八八窯で星を見る会 土砂降りの雨の中開催。参加者は少なかったけれど、ユニークな壺焼きのピザで夕食。その後星の解説。 ① 今日の星空 ② 金環日食 ③ オリオン大星雲
24日 (土)	晴れ	中島 西嶋 高群 小林J 小林J	8人	月、金星、木星、火星、土星、スバル、リゲル、シリウス、M42など 楽しい家族でいろいろとおもしろい感想画出て、あっという間に時間が過ぎました。 彗星観測
25日 (日)	晴れ	艶島 小林M	2人	月、木星、金星、火星、M42、ベテルギウス、シリウス
28日 (火)	晴れ	艶島	12人	城南町旭が丘団地公民館講座 「はやぶさ」上映会 「はやぶさ」祈りバージョンの上映 5/21 金環日食解説
31日 (土)	晴れ	中島 小林J 高群	8人	金星、木星、月、ベテルギウス、M42,火星、土星 岡山の学校に2年間勤めることになったという人が来台。望遠鏡が使えるといって採用されたが、自信がないということでの来台でした。そこで、即席の運営講習会ということになりました。最後は望遠鏡操作と解説の実習までやって終了。望遠鏡を操作している様子を写真に納めて、アリバイ作りにも荷担。今頃はどうしていることやらちょっと心配です。

いよいよ来月は待ちに待った金環日食！ 今年のメインイベントですね。(^_^) 機材の調達やテスト撮影は進んでいますか？ フィルター等は今のウチに購入して下さいね。っと、何処の回し者だと言われそう…。私もこの為にポタ赤を改造して、太陽撮影専用にしてしまいました。機材はバッタリなのですが、撮影の腕がついていかない…。orz 本番がテスト撮影にならないよう、今から頑張りたいです。てか間に合うのか、腕…。

☆5月の天文現象＆行事☆

- 1日（火） 八十八夜
- 4日（金） 5日にかけて月とスピカが接近
- 5日（土） 月とスピカが接近 6日、7日にかけてみずがめ座の流星群が見られる
立夏（りっか…太陽の光熱いよいよ強く、夏の始まり）
- 6日（日） みずがめ座の流星群が極大
満月（12:35） 月の距離が本年最近（356955km 視直径33.6'）
- 12日（土） トークアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）
- 13日（日） 県民天文台30周年記念講演会（別紙参照） 下弦（06:47）
総会 火の君総合文化センターにて（別紙参照）
- 14日（月） 木星が合（05:10 -2.0等、視直径32.8"）
- 20日（日） 月の距離が本年最遠（406442km 視直径29.3'）
- 21日（月） 金環日食（07:34 日食始まり時間や最大時間は各地違います）
鹿児島金環日食観測ツアー催行
新月（08:47）
小満（しょうまん…陽気が良くなり万物が満ちる）
- 23日（水） 小惑星ジュノーが衝（09:43 10.2等、へび座）
- 27日（日） 水星が外合（22:04 -2.4等、視直径05.1"）
- 28日（月） 海王星が西矩（09:45 7.9等、視直径02.2"）
- 29日（火） 上弦（05:16）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2012年5月号 通巻446号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

マーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで